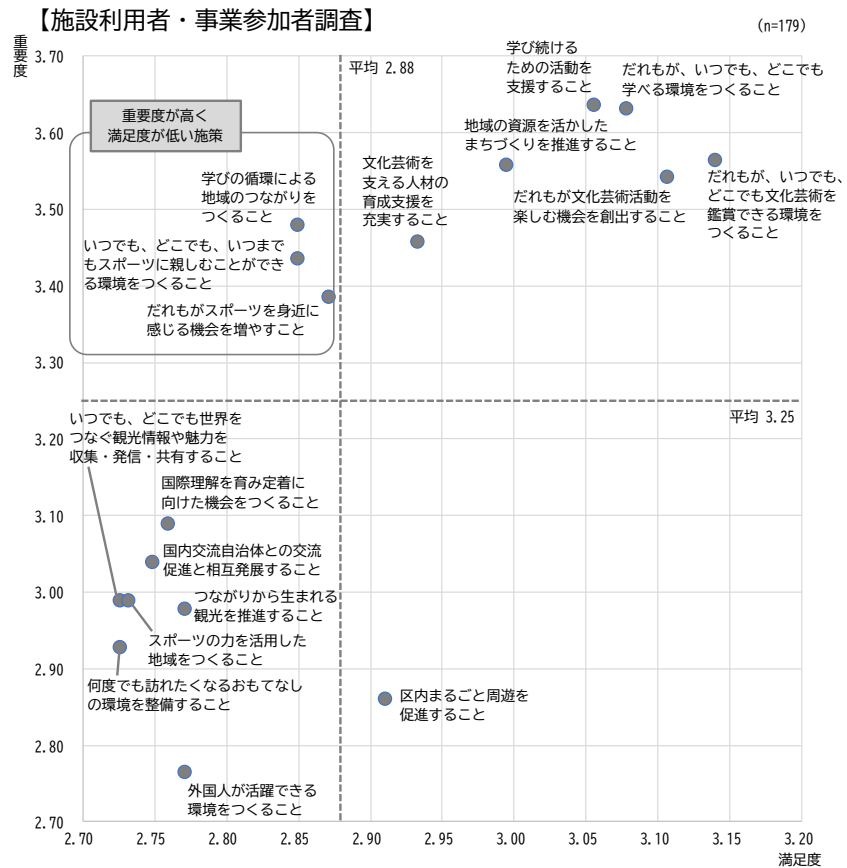


施策・事業の重要度・満足度によるポートフォリオ分析【区民調査、施設利用者・事業参加者調査結果より】

「重要度が高く満足度が低い施策」（優先度が高いと判断されている施策）としては、区民では「いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境をつくること」「学びの循環による地域のつながりをつくること」が挙げられています。

また、施設利用者・事業参加者では、「学びの循環による地域のつながりをつくること」「いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境をつくること」「だれもがスポーツを身近に感じる機会を増やすこと」が挙げられています。



※スポーツ分野の（３）分野別基本方針③の現状値の算出に向けた調査対象者数は12件、文化芸術分野の（４）分野別基本方針④「文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館の展示に関する満足度」の現状値の算出に向けた調査対象者数は25件と、ともに現段階における調査対象者数が少数であることに留意が必要です。

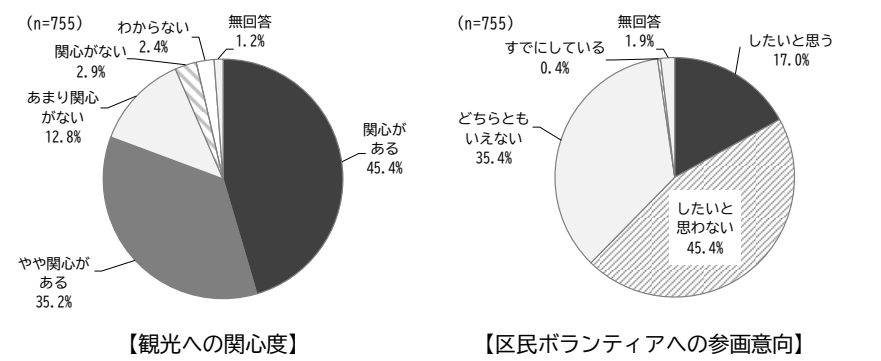
- ✓ 現行の「文京区アカデミー推進計画」に掲げるスポーツ、文化芸術、学習活動、観光、国内・国際交流の各分野での分野別基本方針ごとの指標の達成状況を示したものです。
- ✓ 前回調査時の現状値及び目標値を上回った指標は、太字で示しています。

(4) 分野別基本方針④地域の資源を活かしたまちづくりの推進			
指標	現状値		目標値
文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館の区民認知度	- (令和元年度)	63.8% (令和7年度)	70.0%
※文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館来館者の展示に関する満足度	82.3% (令和3年度)	96.0% (令和7年度)	90.0%

観光への関心、区民ボランティア参画意向

✓観光への関心度は、「関心層」が80.6%、「非関心層」が15.7%なっています。

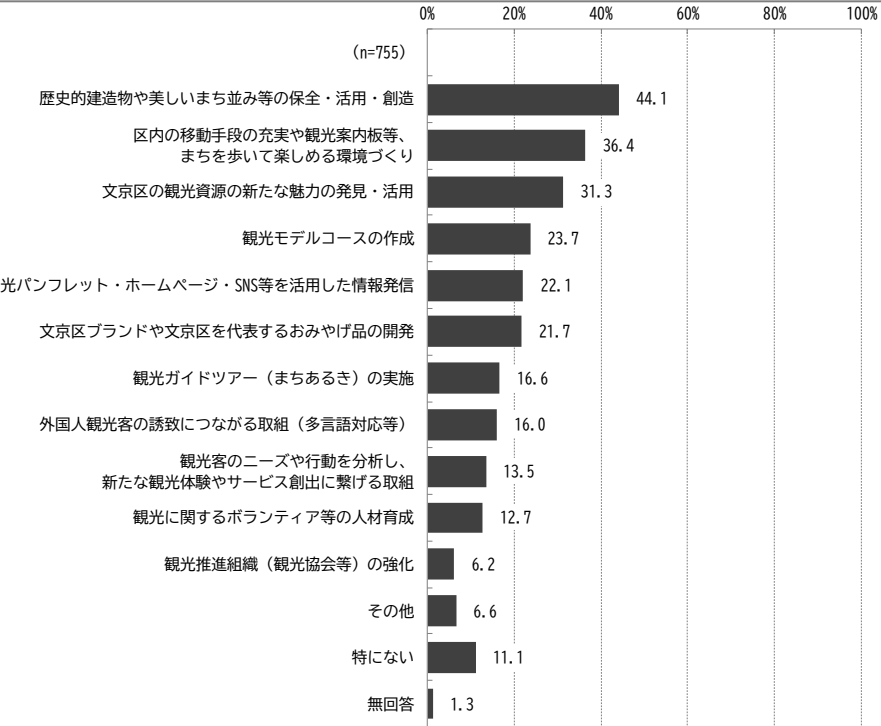
✓観光案内や区の魅力を国内外の人に伝える区民ボランティアへの参画意向は、「したいと思う」が17.0%、「したいと思わない」が45.4%。



区に期待する観光に関わる取組

✓観光を振興するにあたり、区がより力を入れるべき取組の上位項目は、以下のとおりです。

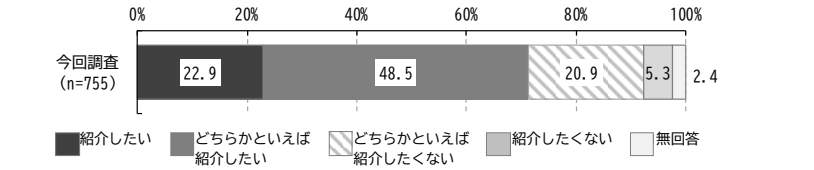
- ①「歴史的建造物や美しいまち並み等の保全・活用・創造（44.1%）」
- ②「区内の移動手段の充実や観光案内板等、まちを歩いて楽しめる環境づくり」（36.4%）」
- ③「文京区の観光資源の新たな魅力の発見・活用」（31.3%）」
- ④「観光モデルコースの作成」（23.7%）」
- ⑤「観光パンフレット・ホームページ・SNS等を活用した情報発信」（22.1%）」



他者推奨意向、観光客増加によるメリット・デメリット、活用が期待される観光資源

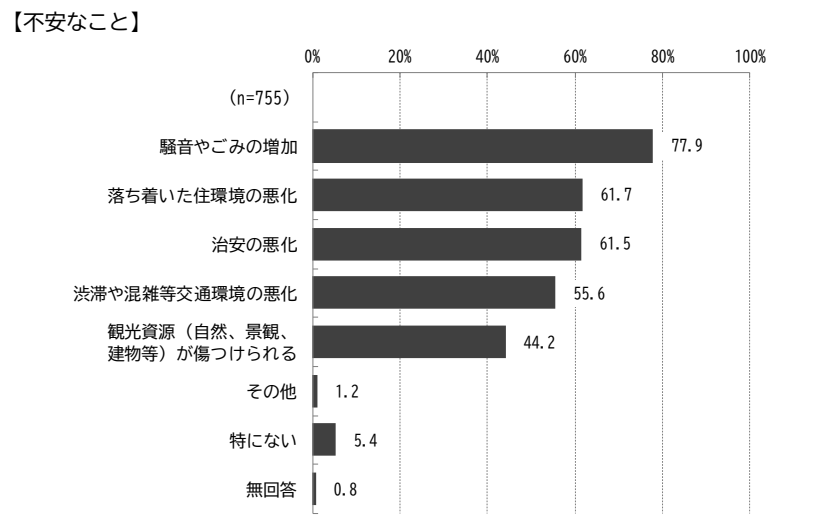
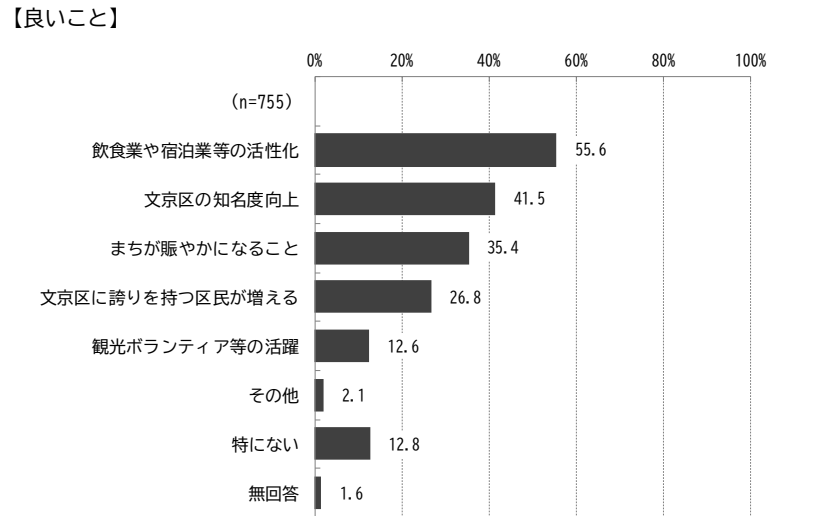
観光客（国内外問わず）への区の紹介意向（区の他者推奨意向）

✓区の他者推奨意向は「肯定層」が71.4%、「否定層」が26.2%となっています。



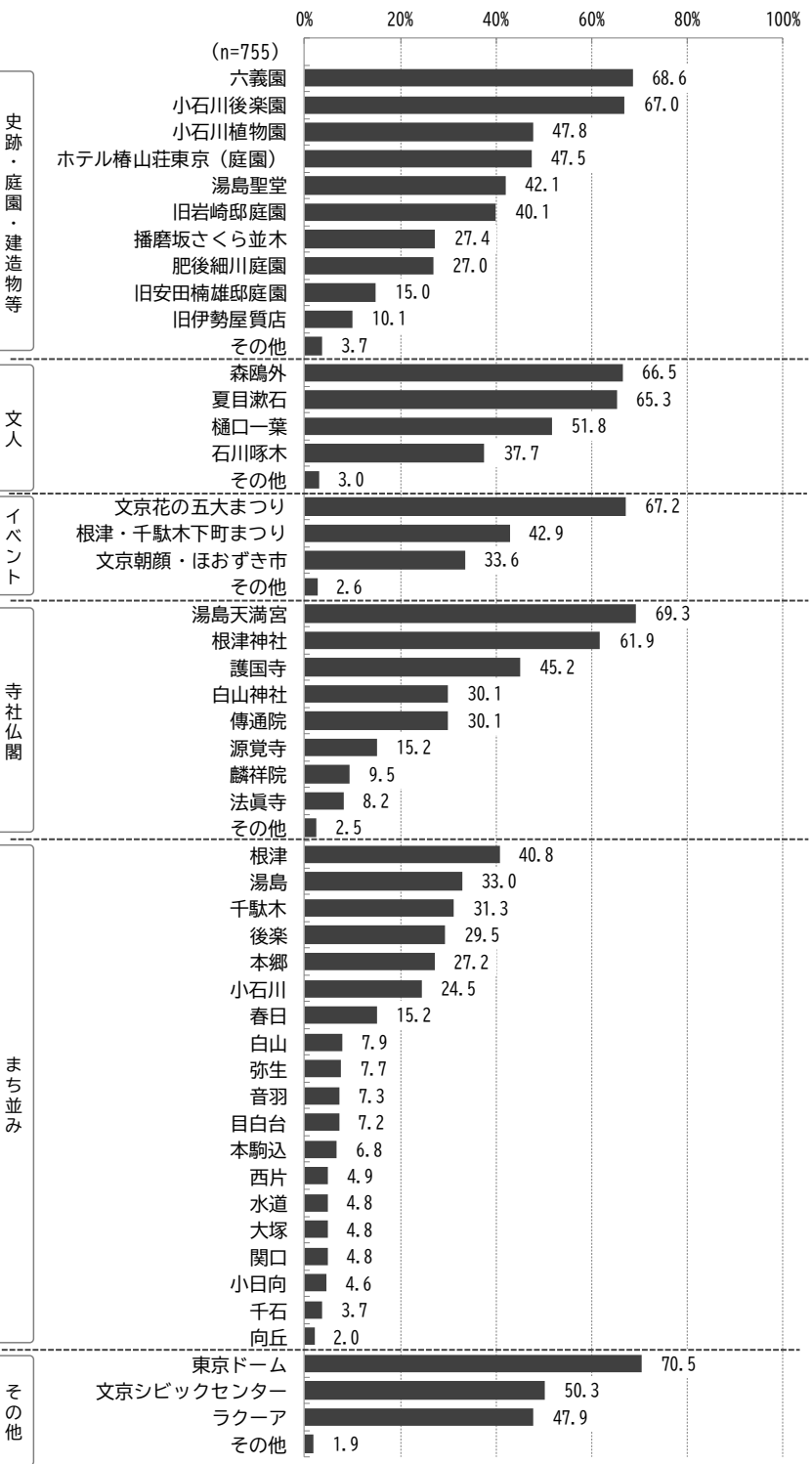
観光客が増えることの良いこと、不安なこと

✓観光客が増えることの良いことは「飲食業や宿泊業等の活性化」「文京区の知名度向上」、不安なことは「騒音やごみの増加」「落ち着いた住環境の悪化」「治安の悪化」が上位にあげられています。



観光振興に活用するとよいと思う具体的な資源

✓観光振興に活用するとよいと思う具体的な資源としては、「東京ドーム」「湯島天満宮」「六義園」「文京花の五大まつり」「小石川後樂園」「森鷗外」「夏目漱石」「根津神社」が6割以上で上位にあげられています。



※「あてはまるものはない」「無回答」を除く。

※観光分野の調査結果は、区民調査結果をもとに作成しています。